

# 平成 30 年度 6 月補正予算の概要

## 1 補正予算の編成の考え方

「100年のまちづくり」構想の実現に向けた施策や復興・再生に向け直面する課題への対応に必要な経費など緊急に措置すべき予算を計上した。

## 2 一般会計補正予算（第2号）の概要

### （1）補正予算の規模

歳入については、国県支出金、繰入金、市債などを計上し、歳出は上記の考え方にに基づき計上した。

この結果、補正額 2,683,021 千円を追加し、補正後の一般会計歳入歳出総額が 54,297,542 千円となった。

### （2）主な補正内容 行政経営方針別等で掲載

【凡例】 新：新規事業、拡：拡充事業、継：継続費、債：債務負担行為

最重点方針 1 復興のさらなる推進	
<b>産業の再生と振興</b> 新 畜産競争力強化対策整備事業補助金（P14） （地域の畜産の収益力の向上に資する施設等の整備に対し、補助金を交付）	113,230千円
<b>産業の再生と振興</b> 新 福島県営農再開支援事業補助金（P14） （農業者が円滑な営農再開を目的として行う一連の取り組みに対し、補助金を交付（管理耕作への支援に対する増額））	27,189千円
<b>放射性物質への不安払しょくに向けた取組</b> 継 里山再生モデル事業（P14） （里山再生モデルとして、原発事故の影響で立入が制限されたことにより荒廃し、安全な利用ができなくなっている国見山森林公園の機能回復を図る（復旧に向けた測量設計及び除染作業を実施））	344,599千円

<p><b>地域医療・福祉提供体制の充実</b></p> <p>地域介護・福祉空間整備推進補助金（P10）</p> <p>（介護サービス利用者の安全・安心を確保するため、施設の老朽化に伴う修繕を行う事業所に対し、補助金を交付）</p>	<p>5,616千円</p>
<p><b>高齢者が健康で活躍できる環境の整備</b></p> <p>継 老人福祉センター建設事業（原町区）（P12）</p> <p>（原町老人福祉センターの機能や利便性の向上に向けて、新たなセンターの建設工事を実施）</p>	<p>300,437千円</p>
<p><b>その他</b></p> <p>拡 南相馬チャンネル整備事業（P10）</p> <p>（南相馬チャンネルの視聴エリアを拡大するため、放送設備を整備（鹿島区の視聴エリア拡大に向けて放送設備を整備））</p>	<p>37,692千円</p>

## 最重点方針 2 旧避難指示区域の再生

<p><b>子育て環境の整備</b></p> <p>継 小高区認定こども園整備事業（P12）</p> <p>（小高区内の子育て環境の魅力を高め、小高区住民の帰還を促進するため、幼稚園と保育園の機能を併せ持つ認定こども園の整備に向けて、造成工事を実施）</p>	<p>92,506千円</p>
---	-----------------

## 最重点方針 3 生産年齢人口の拡大

<p><b>移住・定住の促進</b></p> <p>拡 移住定住推進事業（P10）</p> <p>（移住・定住人口につながる関係人口の増加と地域の活性化を推進（地方創生推進交付金を活用し、新たにスタディツアーを実施））</p>	<p>6,532千円</p>
---	----------------

<p><b>移住・定住の促進</b></p> <p>新 多様な働き方と人づくり支援事業（P14）</p> <p>（地方創生推進交付金を活用し、企業の人手不足解消等に向けて、育児や介護等のために働いていない方や企業を対象に講座を開設するとともに、講座開催やキャリア形成支援、ワークスペースとしての拠点を整備）</p>	<p>50,104千円</p>
<p><b>街なか賑わいの創出</b></p> <p>新 リノベーションまちづくり推進事業（P16）</p> <p>（地方創生推進交付金を活用し、市街地の活性化に向けて、遊休資産と民間資金を活用した民間主導のまちづくりの手法を学ぶとともに、自ら事業を行う人材の発掘と育成を行うため、講演会やワークショップを開催）</p>	<p>9,888千円</p>
<p><b>その他</b></p> <p>拡 小中学校トイレ洋式化事業（P18）</p> <p>（快適な教育環境の充実を図るため、小中学校トイレ施設の改修を実施（原一中の設計を実施））</p>	<p>5,016千円</p>

<p><b>100年のまちづくり 家族や友人とともに暮らし続けるために</b></p>	
<p>新 債 高速道路通行料金助成事業（鹿島区）(P10)</p> <p>（市民の一体感を取り戻し、市民一体での復興促進に向けて、旧避難指示区域等外の被災市民に対し、高速道路通行料金助成金を交付）</p>	<p>117,382千円</p>
<p>新 在宅保育支援事業（P12）</p> <p>（多様な保育環境を支援するため、家庭において保育を行っている保護者に対し、在宅保育支援金を交付）</p>	<p>84,960千円</p>
<p>拡 国民健康保険特別会計繰出金（資料P2）</p> <p>（国民健康保険特別会計に対する一般会計繰出金（子どもの均等割額免除措置に必要な繰出金を追加））</p>	<p>7,398千円</p>

### ( 3 ) 継続費の補正

(追加)

(単位：千円)

款	項	事業名	総額	年度	年割額
3 民生費	1 社会福祉費	老人福祉センター建設事業	603,613	平成30年度	300,437
				平成31年度	303,176
3 民生費	6 原子力災害民生対策費	小高区認定こども園整備事業	541,074	平成30年度	92,506
				平成31年度	448,568
6 農林水産業費	5 原子力災害農林水産対策費	里山再生モデル事業	849,599	平成30年度	363,599
				平成31年度	486,000

### ( 4 ) 債務負担行為の補正

(追加)

(単位：千円)

事項	期間	限度額
原町東地区創設非農用地取得金 ( 萱浜零線外 )	平成31年度から 平成32年度まで	712
高速道路通行料金助成金	平成31年度から 平成32年度まで	助成登録を行った者の助成額が南相馬市 高速道路通行料金の助成に関する規則に定め る助成上限に達するまでの残額

### ( 5 ) 地方債の補正

(追加)

(単位：千円)

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
19 老人福祉センター建設事業	285,400	証書借入 又は 証券発行	年3.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借 り入れる資金について、利率の 見直しを行った後においては、 当該見直し後の利率)	融資条件の定めのある資金につ いては、その融資条件により、そ の他の資金については相手方との 協定によるものとする。 ただし、繰上償還をし、償還年 限を短縮し、又は低利債に借り換 えることができるものとする。

(変更)

(単位：千円)

起債の目的	補正前				補正後			
	限度額	起債の方法	利率	償還の方法	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
4 社会資本整備総合交付金事業(橋梁維持)	169,800	-	-	-	202,600	-	-	-

## 【参考】主な基金の状況

### 財政調整基金

(単位：千円)

基金名	H29末残高	積立額			取崩額			H30末残高 見込み
		補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
財政調整基金	4,123,063	300,034	0	300,034	1,949,679	34,619	1,984,298	2,438,799

### 東日本大震災復旧・復興基金

(単位：千円)

基金名	H29末残高	積立額			取崩額			H30末残高 見込み
		補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
東日本大震災復旧・復興基金	11,257,659	106	92,161	92,267	1,861,454	1,223,801	3,085,255	8,264,671
(ア) 市町村復興支援交付金(一般分)	738,298	7		7	131,154	388,730	519,884	218,421
(イ) 市町村復興支援交付金(津波被災分)	637,709	6		6	56,400		56,400	581,315
(ウ) 復旧・復興義援金	186,604	2		2	111,329		111,329	75,277
(エ) 核燃料税交付金	56,842	1		1	380		380	56,463
(オ) 一般財源	9,638,206	90		90	1,562,191	742,910	2,305,101	7,333,195
(カ)のうち、福島県早期帰還・生活再建支援交付金分	199,724	0		0	0		0	199,724
(キ) 避難地域復興拠点推進交付金分	0	0	92,161	92,161	0	92,161	92,161	0

### 東日本大震災復興交付金基金

(単位：千円)

基金名	H29末残高	積立額			取崩額			H30末残高 見込み
		補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
東日本大震災復興交付金基金	8,606,805	78		78	325,759	34,252	360,011	8,246,872

### 帰還環境整備交付金基金

(単位：千円)

基金名	H29末残高	積立額			取崩額			H30末残高 見込み
		補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
帰還環境整備交付金基金	5,132,517	474,267	238,405	712,672	1,453,984		1,453,984	4,391,205

### 市民一体化復興促進基金

(単位：千円)

基金名	H29末残高	積立額			取崩額			H30末残高 見込み
		補正前	今回	補正後	補正前	今回	補正後	
市民一体化復興促進基金	0	0	1,030,000	1,030,000	0	117,382	117,382	912,618

### 3 特別会計補正予算の概要

#### 国民健康保険特別会計（補正第1号）

財政運営の主体である県から示された標準保険料率を踏まえ、平成 30 年度のあん分率の確定、子どもの均等割額免除の実施や広域化による基金の再編等に伴う補正を行うもので、補正額 1,971,095 千円を追加し、補正後の歳入歳出総額が 11,437,835 千円となった。

#### 後期高齢者医療特別会計（補正第1号）

一部負担金等免除証明書更新に係る経費の補正を行うもので、補正額 1,146 千円を追加し、補正後の歳入歳出総額が 817,175 千円となった。